

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム つつじⅢ 第1ユニット	評価実施年月日	平成19年12月1日
評価実施構成員氏名	東海林 友里・西村 久子・小山 亜衣・高橋 恵・今 由紀		
記録者氏名	今 由紀	記録年月日	平成20年1月1日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
○地域密着型サービスとしての理念 1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	独自の理念があります。		今後も、理念を念頭におき、やっていきたいと思います。
○理念の共有と日々の取組み 2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	スタッフの目につく場所(休憩室等)に理念を貼っていたり、又、社内研修で内容を再確認し、それに基づき日々取り組んでいます。		日々の生活の中で、実践しています。
○家族や地域への理念の浸透 3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	見やすい所に理念を貼っています。直接、ケアの取り組みをお話しています。		推進委員会に、ご家族や地域の方に参加して頂き、日々の取り組みや生活を伝えています。
2. 地域との支えあい			
○隣近所とのつきあい 4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	通勤時、隣接の病院スタッフや面会の方に、ご挨拶をさせてもらっています。		夏祭りや催し物の際、近所の方にお知らせして、気軽に立ち寄れるよう努めています。
○地域とのつきあい 5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	小・中学校の催しや老人会、町内会からのお誘いに声をかけていただいています。又、こちらで夏祭りや、催しがある際、お知らせしています。地域のボランティアの方(音楽、書道等)に来てもらったり、2~3ヶ月に1度、近所の美容室に行っています。		お世話になっているボランティアの先生に貼り絵を差し上げたり、地元の小学生や中学生が、気軽に立ち寄れるよう、これからも交流を継続していきたい。
○事業者の力を活かした地域貢献 6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	NPOによる協力を得て、活動を行なっています。		夏祭りや音楽の会等に参加、協力をお願いしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>職員全員で評価に対し関わり、改善するよう取り組んでいます。</p>	○	改善する内容があれば、これからの課題として取り組んでいます。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に1回、当ホームで運営推進委員会を開催し、ご家族や地域の方に都度、お伝えし意見を伺っています。</p>	○	利用者さんにも参加してもらっています。サービスを受ける側からの意見を伺う機会にもなり、サービスの向上に活かしていきたいです。多くの利用者さんからの意向を伺っていけたらと思います。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>ふれあいフェスタに毎年参加しています。</p>	○	更に機会を作りたいと思います。
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>管理者研修において学び、今回具体的な相談にのりました。</p>	○	今後も学ぶ時間を作り、活用できるよう支援したいと考えています。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>虐待のシンポジウムに職員が参加しました。又、社内研修に取り上げ職員全員が認識しています。</p>	○	今後も社内研修に盛り込み、人としての尊厳を伝えていこうと思います。
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>契約を交わす前後に、ご家族等とよく話しをしています。</p>		重要事項説明書に提示しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2ヶ月に1度の近況報告や、面会時、運営推進委員会の場において、話してもらっています。		個人的にお話して、ご意見を伺っています。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	ご家族が面会時に日頃の様子を伝えたり、面会に来られないご家族には、電話で伝えています。又、2ヶ月に1度、おこづかいの残高と日中の生活を手紙にして伝えています。2ヶ月に1度、おこづかい帳の確認を行なってもらっています。		今後もご家族への連絡を継続していきたいと思います。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	現在、苦情等はありませんが、気軽に意見を話せるように心掛けています。		要望等あれば、気軽に話して下さるよう伝えていきます。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員からの意見や、提案を聞く事があれば、反映していきたいと思っています。		職員の考えや提案を反映できるように努めています。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	体調の変化があった時に、応援体制があります。		近くにグループ内の准看護師が住んでおり、協力が得られるようになっていきます。
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	異動時には管理者が関わりを多くもつようにし、不安を解消するようにしています。		個人的に話を聞く機会を作り、気持ちを確認するよう心掛けていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎月、内容を設定し、社内研修を行なっています。又、社外研修にも参加しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も社内・社外研修の参加を行い、又、資格取得の為受験を目指すよう勤めています。有資格者がテキストに対するアドバイスも行なっています。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>手稲区のグループホームの集まりや札幌市の集まりに参加しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も機会があるごとに、参加していきたいと思います。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員が気軽に話せる状況にあると思います。仲間と出掛ける機会を設けています。</p>	<p>○</p> <p>個人的に親しい人が声をかけ、相談にのっています。必要に応じ、先輩、上司に対応してもらっています。</p>
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>それぞれの職員が、能力を発揮出来るよう、心掛けています。</p>	<p>○</p> <p>自分の考えを話したり、実行できるようにと配慮があり、自信につながるようと思っています。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご本人の表情や気持ちを知り、受け止めていく努力をしています。</p>	<p>○</p> <p>会う機会ごと、話を聞くようになっています。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族の気持ちをよく聞き、受け止める努力をしています。</p>	<p>○</p> <p>いつでも気軽に話せるように努めています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人やご家族の気持ちを知り、出来るだけ添えるようにと考えています。	○	面接を行い、グループホーム以外のサービスが必要な時は、応じるように心掛けています。
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人の性格や、生活環境等をふまえて、又、ご家族の心情を考慮しながらと思っています。		無理なく、時間をかけて安心して生活できるように、グループホームの様子を見てもらい、決めて頂くよう見学をすすめています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	生活していく上で、本人らしさを重視し、家庭的な雰囲気の中で、色々な事を共に学んでいけたらと思います。		生活の知恵や体験を聞きながら、教えてもらうという姿勢で生活しています。
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日々の生活面、精神面についてご家族と共有し、ご本人を支えていきたいと思います。		今後も、小さな事でもお互いに話し、家族の参加できる場面を継続していきたいと思います。
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるよう支援している。	ご本人やご家族とよく話し、生活歴や性格を理解し、よりよい関係になるよう支援しています。		電話したり、手紙を出したり、生活状況を伝えています。又、気軽に面会して頂けるよう声をかけています。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご親類やご友人が訪ねてこられたり、又、美容室に行ったりしています。		今後も有意義な時間になり、継続できるよう支援していきたいです。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	それぞれの生活観を尊重し、利用者同士の関わりや、職員を介する事で安心した生活を送れるよう努めています。		職員が周りの様子を見て、仲間作りができるよう配慮しています。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	退所後も、立ち寄って下さるご家族もいらっしゃるので、今後も継続していきたいと思えます。	○	ご家族や利用者の方をお見かけした時は、気軽に来て下さるよう声をかけています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	それぞれの意向を把握し、できるだけ気持ちに添えるようにと思っています。		生活を共にし、困難な方にはご本人にとって、安心できることは何かを基本にしています。ご本人の気持ちを第一に考え、関わっています。携帯電話を使用したり、これまでの友人が気軽に立ち寄られています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	個々のフェースシート、生活歴の内容を把握、更に社内研修時にも他階のスタッフにも伝達する機会を作っています。		今後も職員全員が個々の内容を把握していく事を続けていきたいと思えます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	日々の関わりの中で、心身状態の把握を行なっています。		職員間の情報交換を日々行ない、確認しています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	心配事が発生した都度、それぞれの意見を反映できるようにしています。		日々の話し合いや、モニタリング・サービス担当者会議等で考えや、アイデアを話し、ケアマネと共に計画に盛り込んでいます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	その時の状況(転倒、変化、入・退院時の内容)に応じて、現状に即した介護計画を行なっています。		ご本人の状況を把握し、上司に相談、ご家族に伝え話しています。介助が必要か援助なのか、そばで見守る必要があるか、今必要なことを最優先にしています。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個人の記録に一日の状況を記入、又、職員共有のおくりノートに記入して情報共有し、見直しに生かしています。		記録をフロアの職員が読み、状況把握、又、情報交換して見直しや実践につながる事を計画書に生かしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	近くの美容室や他科受診にスタッフが同行している。		今後も、ご希望に合わせていきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	町内会、学校、民生委員、ボランティアの方と定期的に関わりを持ち、年2回消防訓練を行ってもらっています。	○	定期的に開催している。応急処置の指導も継続して学びたい。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域の連絡協議会で協力を得ています。		レクリエーションで、ホームに活用できる事。又、他のケアマネージャーが入居相談の連絡を下さいます。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	2ヶ月に1度、推進委員会のお知らせを行い、出席して下さっています。	○	町内の活動、催しに参加しながら、地域で生活を継続できるよう話し合っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ医があり、状況に応じて相談させてもらい、病院側より指示をもらっています。		ご家族と相談しながら、必要に応じて受診しています。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	かかりつけ医が近隣にあり、受診しています。		専門医の診察が必要な際は、紹介して下さいます。
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	かかりつけ病院、外来看護師にほとんど相談しています。		小さな事でも相談しています。今後も継続してきたいです。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	現状を知る上で、病院側から経過の連絡を頂いたり、ご家族より定期的に状況伺う事もあります。		退院後も具体的に相談員や医療スタッフも協力体制にあります。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	協力病院、他の施設と相談しながらご本人、ご家族と話し合い、スタッフと確認しています。		必要に応じ、その方にあつた機関の利用を支援しています。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	主治医の指示のもと、ご家族と話し必要に応じて対応しています。		医療的治療の後にホームで、ケアができる部分を見つけ、生活の維持を図っている。病院同行、救急車依頼、状況説明行い、ご家族が到着する迄、付き添っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	必要に応じて対応しています。	○	家族、相手先に合わせて十分話し合っています。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	人生の先輩という事を忘れず、慣れなれしすぎない柔らかい口調で対応するよう日々取り込んでいます。		それぞれの尊厳を重視しながら関わっています。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	現在の状況に応じ、不安にならない対応で、本人が安心して暮らせるよう支援しています。	○	これからも本人の意向を表出しやすいよう、声掛けをしたり、具体的に示したりしていく。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	日常生活をゆったりと、自分らしく過ごせるよう心掛けています。		起床時間、食事の場所等、その方のペースに合わせて、一人で過ごす時間も大切にしてもらっています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	その人らしい身だしなみを支援しています。美容室等、本人の希望時に利用しています。		その方の好みを考慮し、支援しています。美容室では、ご自身に希望のカットを聞いています。又、男性は散髪の際、髭を剃ってもらいます。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	それぞれのやりがいになる場面を知り、一緒に行なっています。	○	個々の食事形態、好み等を少しでも取り入れていきたいと思っています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	健康面に気をつけながら、出来る限り、好みのものを提供しています。		日々の生活の中で嗜好を知り、できるだけ考慮しています。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	個々の排泄状況、パターンを把握するよう日々職員間で情報を共有し、声掛け、誘導を行い、気持ち良く排泄できるよう心掛けております。	○	精神面を考慮した柔らかな対応を続けていきたいと思えます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	体調を考慮し、出来るだけ自分のペースで入浴できるよう、又、満足感、爽快感につながるよう心掛けています。		本人の意思、プライバシーを尊重し、一人で入ったり、仲の良い方と入浴してもらったりしています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	都度、日中の様子や運動量を知り、安眠につながるよう、又、危険がないよう見守りを行なっています。		個々の睡眠パターンを把握し、支援しています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	それぞれの習慣や現在楽しみになっている事を知り、生活の張りにつながるよう支援しています。		職員間で情報交換し、よりよい支援につなげていくようにしています。一人で頭の体操をする方、共同で手作業する等配慮をしています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	何人か、自分でお金を少し所持している方はいらっしゃいます。他、事務所金庫に個別にお預かりしています。歯ブラシ、歯磨き粉等は、こちらで要望に合わせ、購入しに行っています。	○	要望に応じ、近くのお店と一緒に買物に行けたらと思っています。美容室の帰りに、近くのお店に寄る事もあります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	散歩や草花、畑の様子を見に出かけます。年2度、近隣の公園にお弁当を持って、お花見や紅葉を見に行ってきました。無理強いせず、その日のご本人の気持ちを尊重するようお誘いしています。	○	少しでも外気に触れる時間を作っていきます。
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	近隣にバスに乗って、春と秋に出かけています。		職員と仲間で近くまで散歩をする事。ご家族と出かけたりされています。
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	携帯電話を持っている方は、好きな時に受けたり、かけたりしています。	○	今後もご本人の気持ちに添った支援をしていきたいです。
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に立ち寄れる雰囲気而努力しています。又、職員の顔を覚えられ、職員にも気軽に話していただけるように心掛けています。		ご家族やご友人、お坊さん等よく見えています。
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束防止委員会を年数回、職員で行っています。又、社内研修に社外での伝達講習を含む内容を全職員に伝えています。		人としての尊厳を基本としています。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	必要に応じて時折かけている事があります。		デイサービスと玄関が共用の為、隣接している駐車場へ行ってしまう方が利用する時などに施錠する事があります。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	個々の利用者さんのその日の様子を申し送りやおくりノートに記入し、引き継ぎを行い、状況を把握し、安全に配慮しています。		しっかり引き継ぎを行い、又、前日等の記録を読む事も続け、安全に努めたいと思います。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	ハサミ、刃物、火のつく物は予めお預かりしています。個々の状況に合わせて保管しています。		入所前に予め、ご家族に話し取り組んでいます。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	その日の体調や様子を把握し、定期的に研修を行なう事で知識の習得、確認を行い、日々生かしています。	○	定期的に研修等で再確認し、知識の向上につなげていきたいと思ます。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	応急処置の講習、研修を定期的に行っています。		一人一人が知識を高め、誰もが迅速に対応できるようにしていきたいと思ます。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	週1度、フロアで避難訓練を行っています。隣接している病院に協力を得られるよう伝えていきます。		地域の方との交流により、協力体制が広がるようにと考えています。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	利用者の変化等を早目に伝えていきます。		小さな事でもご家族に話し、相談に努めています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の様子を知る事で、変化に速やかに対応しています。都度、職員間(他階も含む)情報を共有しています。		顔色、歩行状態、話し方、食欲等の違いに注目しています。
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	決まった時間に声かけし、日付、名前を一緒に確認し手渡す。用量、用法を知る。副作用等記入された処方箋のコピーをフロアに掲げています。社内研修にも服薬について内容とりあげて、重要性の確認に努めています。		今後も、服薬管理、副作用についてそれぞれが認識し、安全に行なえるよう努めたいと思います。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	1日の食事の中に果物、乳製品、繊維質を摂り入れている。歩行や体操、マッサージ、水分量の把握に努めています。排便有無を知り、便秘していないか確認します。		便秘の方は、かかりつけ医より下剤が処方されている方もおります。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	おひとりで不足ある方は、一部介助、声掛け行い清潔を保つよう心掛けています。		月1回歯科衛生士による口腔ケア行なわれている。朝、食後など見守りや一部介助にて清潔が保てるよう心掛けています。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食、摂取量の確認、水分量のチェックを行なっている。体調、歯の状態、嗜好に応じて、又、割箸、スプーンを使い食事しやすい工夫を尊重しています。		献立は栄養士のアドバイスをもらい作成しています。毎日、摂取量、水分量を記録し、変動がないか確認し、心配があれば主治医に相談します。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	例年、インフルエンザの予防接種をうけている。ノロウイルス対策としては、次亜塩素酸ナトリウムで手すり、床等掃除し、排泄物を長時間放置しない。生物は避け、過熱した物を調理しています。手洗いの励行しています。		職員は勤務前にうがい、手洗いを行なっています。汚物処理には、使い捨て手袋を使用しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	冷蔵庫の整理、毎週月曜日行なっている。スポンジ、たわし、布巾、まな板は1日1回漂白、こまめにとりかえている。鮮度の良いものを揃えているが、調理の際には必要に応じ、十分過熱するようにしています。		冷蔵庫以外に床、棚等も毎日掃除しているが、引き続き徹底していききたい。調理器具等、使う際、使い終わった際も引き続きまめに洗浄し、管理していききたいと思います。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	見える所に植物があり、明るく入りやすい環境、足元への注意を払い、毎日掃除している。スロープや手すりを安心して使用できるよう環境を整えています。		玄関まわりの整頓、引き続き続けていききたいと思います。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	玄関、居間には季節感を取り入れ、草花を飾っています。台所、食堂、廊下、床、手すり等を含め毎日の掃除、消毒をし安心して頂けるようにしている。浴室、トイレも毎日、掃除、消毒し使い心地いいよう整え、日差しや日を感じながら、ベンチ椅子で本を読んだり、お茶を飲んだりしています。		ホーム全体が過ごしやすい作りになっているので、今後も安心して過ごせるように変化に応じた対応をしたいと思います。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用空間でベンチ椅子に座り、体操をしたり、利用者それぞれが思い思いにできるよう見守り、配慮しています。気の合う利用者同士での談話などの時間を大切にしています。		他階に遊びに行ったり、1階にはテレビを見る所や談話室があり、時により利用しています。
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた物を使い易い配置に置き、自分らしい生活を送れるよう配慮している。		タンス、ベッド、鏡台、仏壇等、今まで使っていた物を置いています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	居間、トイレ、居室等のニオイ、温度には個々の意向を考慮しつつこまめに調整しています。1日に何回か換気をして空気交換、脱臭に努めています。		外気が直接あたらない様に配慮しています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	建物の中、フロア内に手すりの箇所が沢山あります。椅子や床の素材は安定している物を使っています。		浴槽の中にすべり止めマット使用、キッチンは低めに作られている為、高齢者に使いやすい工夫がされています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	ご本人の自尊心に配慮しながら、安心して自分らしく行動できるよう関わっています。		今後も継続し、自信の回復につなげたいと思います。
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	2階に中庭があり、又、建物の周りには草花や畑があり、散歩時に緑を見たり、畑の野菜を穫ってみたり、景観を楽しんでいます。		ベランダの洗濯物をとりこんだりする事や、中庭側の窓から見える空や日差しをベンチ椅子に座り感じる事ができます。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ②
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ③

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	②
98	職員は、生き生きと働いている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
ご本人のできる事を尊重し、毎日安心してゆったり暮らせるようにと思っています。